



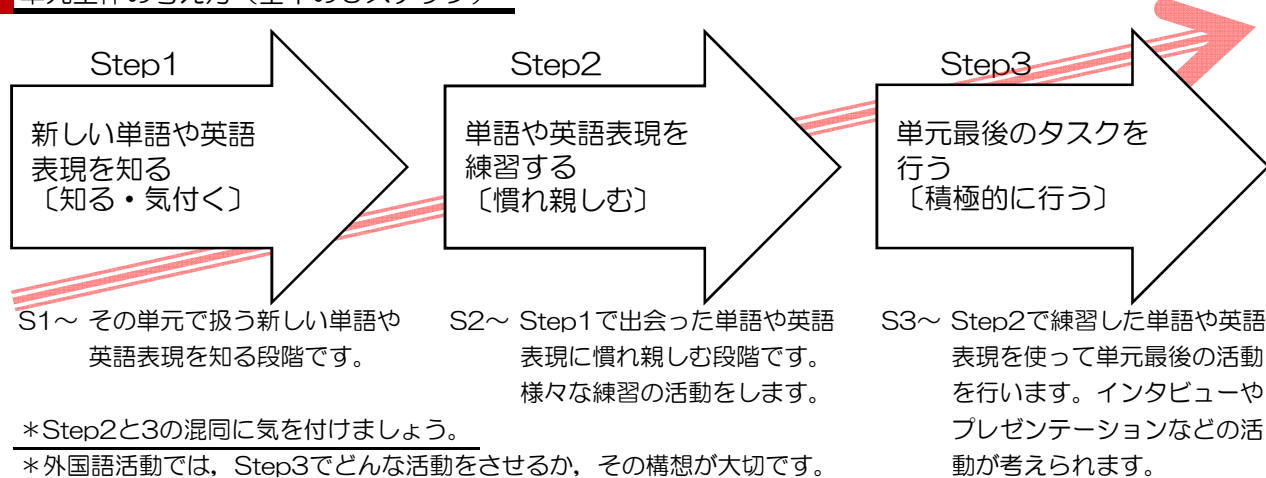
一単元全体の構成をふまえ、一時間の授業を行う一

外国語活動充実のためのポイント、四つ目は「単元構成の考え方(基本の3ステップ)を理解すること」です。

英語という「言葉」を、ゲームの「道具」で終わらせないために、ここの理解は大切です。ステップ3でどんなコミュニケーション活動を仕組むか、指導者の力量が問われるところです。先進校では、ここの質が高いです。

いずれにしても、一時間の活動を行う際には、「本時が単元のどの段階か」を理解して行うことが大切となります。

単元全体の考え方(基本の3ステップ)



6年生 Hi, friends! 2 Lesson2の3ステップ

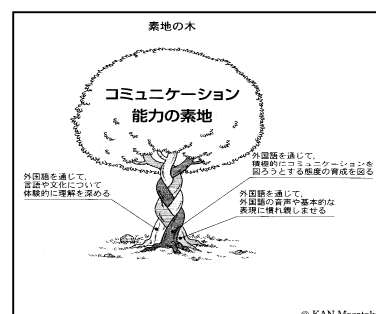
Hi, friends!の活動メニューがどの段階に相当する活動例として載っているか見てみましょう。



外国語活動の目標に向かって

上記の単元のくり返しに、言語や文化への気づきの活動が合わさって、外国語活動の目標が達成されていきます。

外国語を通じて、
言語や文化について体験的に理解を深め、
積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、
外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、
コミュニケーション能力の素地を養う。



教科化へ

現行の外国語活動では、上記のように一単元で学習内容が完結しながら進んでいくイメージですが、コミュニケーション能力の基礎を養う体系的な指導を行う教科として位置づいた際には、より系統性をもった指導となっていく見通しです。教科書の内容もそういった意味で、現在の主教材Hi, friends!とは変わったものとなるでしょう。